



進路関連行事～今後の流れ

12月4日(土) 2011年度科目選択予備調査

12月7日(火)～10日(金) 後期中間試験

以降、センター対策・英数理、英国社数期間

後期試験終了後は、高2最大の目標であるセンターチャレンジに向けて、準備をすすめる時期です。また、今後の模試から、理社が入ってきますので、勉強の優先順位を次のように考えてください。

理系 ①数学②物理・化学・生物(私大・二次利用科目=したがって2科目利用者はもう一方も。)③英語④国語(特に古・漢。ただし、現代文は時間がかかるから早くからやるという考え方もあり)⑤理科(センターのみ)⑥社会 理科が数学と同じように問題演習に時間をかけないといけないことをしっかりと認識しましょう。

文系 ①数学②英語③古文(漢文)④歴史⑤現代文⑥理科 歴史はとにかく時間が必要です。できるだけ早くからきちんと取り組むことが重要。その前にある3科目はどれだけ完成が求められるかを感じてください。⑤までは、完璧に仕上がらないと文型の合格はありません。

上記はあくまでも順調に来ている前提の考え方です。人により得意、不得意の差がありますから一概にいうことはできません。特に**英語がある程度先行している前提**の優先順位ですので、英語が手つかず、遅れている場合、英語の優先順位が必然的にあがりますが、その場合は、英語と数学が①であり、理科が②であるように、ほかの優先順位が下がるわけではありません。

センター試験は2年生までの範囲で取り組める試験です。ここからの1ヶ月半で、センター試験に向けた準備をしっかりと行い、その後にいよいよ主要科目に時間をかけていく手応えをつかんでください。

12月10日(金) 河合記述模試返却=放課後までに届いていない場合、13日月曜返却

12月16日(木) 科目選択提出締め切り

※以降の変更については自由に行うことはできません。

12月24日(金)25日(土) 駿台マーク模試(本校実施、センター必要科目受験可能)

※駿台での実施は23日になります。駿台での7科目受験の場合、朝8:00～夜8:00までかかることとなります。

1月15、16日 大学入試センター試験

1月21日(金) センターチャレンジ

※2011年度センター試験の国数(2科目)英実物を用いて、本校で模試のように実施します。したがって、今年は特に国数英については、15日、16日のセンター試験をやらないようにしてください。

1月22日(土) 3年0学期始業式

3年生の3学期は入試のスタートであり、授業がないことを考えると、ここが3年の1学期に当たります。

以降、高3スタート期間。二次・私大をベースに基礎からがんばろう!

センターチャレンジの翌日に、「3年0学期始業式」を行います。まさに来年の今日から受験が始まるわけですから、まさに受験まで1年を切るのです。2年生レベルのセンター試験を完成させ、これから「二次・私大」科目を中心にしながら、「センター科目」の演習をコンスタントに行い、維持していくことが必要となります。

センター試験を「基礎」と捉える人がいますが、コトバ通りにとらえてはいけません。確かに、まず、「センター試験」レベルの読解、文法、単語を完成させずして、「二次・私大」の問題に取り組めないことは自明ですが、「センター試験」は、記号選択であるだけでなく、特殊な形式の試験であることをもう一度理解してください。「センター試験」そのものをやり続けると、たとえば英語であるなら、英単語、要約、和文英訳(英作文)、英文和訳、誤文訂正といった基本的な問題をいっさい解かないことになってしまいます。これでは入試に必要な「基礎」でなく、センター試験の「実践」をやっていることになってしまいます。「センターレベル」と「センターそのもの」を混同しないでください。

このように、3年0学期からは、主要科目、センター科目などの分けをもとに、「基礎」からきちんと学習していくこととなります。慌てて、センターを含めて過去問題ばかりをやるようなことにならぬよう、バランスよく、まんべんなく学習に取り組むサイクルを作ります。

目標は、河合の記述模試。12月24日、25日のマーク模試から、理社が入ってきていますので、私大、二次科目を優先しながら、センター科目もコンスタントに学習するリズムを作りましょう。

参考書など勉強するアイテムを用意したら、最初に「目次」をしっかりと頭にたたきこむこと。どのぐらいの項目があるのか、いつまでにどのくらい行けばいいのか、ということは1ヶ月で、2週間で…という目安がとても重要なのです。

2月5日(土)7日(月) 河合全統記述模試 5教科

※記述、センターにかかわらず基本的に来年度使用する科目すべて受験します。逆にいえば、使用しない科目は受験しなくてかまいません。最低3科目受験、選択した科目(使う科目)は必ず受験します。

2月6日(日) 河合マーク模試 5教科

※本校で割り引き申し込み、受験は河合塾各校の予定です。

2月11日(祝) 予定 駿台東大レベル模試(希望者) 英・数・国

※名称が東大「レベル」ですので、東大模試ではありません。旧帝大、早慶を志望する者は受験した方がよいと思います。また、例年、5日7日の河合塾の記述模試の方が手強いことが多いので、名称で尻込みしないようにしてください。

3月9日(水)~12日(土) 学年末試験

春休みに、駿台マーク模試・スタディサポート、4月に実力試験を予定

今後1年のおおよその学習指針

4月まで

3年0学期を境に二つのステージにわかれるのは前述した通りです。この時期は①苦手科目の克服②目標の高さの把握 以上の2つを中心にすべての教科の基礎をやり直しましょう。4月以降はクラブ活動や完全下校時間の関係で、思った以上に時間は確保できません。模試で把握した理想とのずれについて、①すべての教科の基礎に取り組みながら、苦手を克服すること②第一志望大学の過去問題を、一度時間を計って解いておくこと、を終わらせておきましょう。①については、薄い問題集（たとえば2週間完成とか10日間完成の問題集）を解くようなことがとっつきやすいでしょう。また、英語や古文では、まずは単語から始めると積み重ねが関係ないので成果があがりやすいと思います。②については、赤本の最初に、各大学の入試傾向や過去の出題分野などがまとめてありますので、一度解くのと同時にそれらを頭にたたきこむことがとても重要です。

夏休み前まで

時間がありそうに見えて、比較的時間が少ないのがこの時期です。まず、あせらず①授業をベースにすること、次に②1週間～2週間のスパンの中でまんべんなくすべての科目、分野の学習をすることが重要です。①については、ただ授業を受けるのではなく、予習、特に辞書や参考書を用いずに一人でやるという一手間が大事です。復習をする時には、覚えるべき文法事項などに付箋を貼ったり、あとで復習しやすいように、別のノートにまとめるなどの作業を、授業のノート作りでやる工夫が大事です。先生の解説をただ聞く、写すという状況では成績向上は望めません。とはいえ、数学と理科は問題演習が欠かせません。復習ベースかまいませんので、こればかりはどんなに時間がなくても、問題演習を復習として行いましょう。②については、「少ない時間だから」「優先がこれだから」ではなく、1週間～2週間のスパンで必ず受験で使う、全科目（英数国理社ということ）、全分野（単語、文法、長文…など）を行ってください。優先科目が英語だからといって、数学や理科を夏休みまで手つかずでいるなら合格はおぼつかないですね。また、「まず単語。終わったら…」と言いながら、単語ばかりをやっている人も同じです。単語や文法に基礎をおきながら、読解練習も週に2～3題は必要です。模試などをうまく受験しながら、「試験問題」の把握を2週間おきぐらいにチェックし、単語や文法に重点をおきながらも、まんべんなく問題演習を入れてください。

夏休み～夏休み明け

この時期からようやく受験勉強の時間が本格的にとれるようになります。したがって、成績向上が数字で見えてくるのは、早くても10月の模試、手元にかえてくるのは11月だと覚悟してください。この時期、最も重要なことは①慌てないこと、目標を下げないこと、です。逆にいえばこの時期に慌てるようなら、科目選択をもう一度見直し、現実的な目標に変えるべきでしょう。なぜなら特に運動部の生徒ががんばった結果の果実を得るのは、冬以降だからです。①について、夏の成績をある程度、予測、覚悟して、動じないつもりでいてください。また、学校や予備校の講習を受けることが多くなる時期です。実際、こうした講習はある程度とるべきでしょう。しかし、その結果、ある程度の日数が講習を受ける時間に割かれることとなります。1日全く授業がないのは8月に入ってから、というのもよくある話で、結果として計画通りに進まず焦ることとなります。大事なことは②そうした状況を予測しておき、慌てないこと、そしてやはり1～2週間程度でまんべんなくすべての学習をすることが大事だと思います。③この頃から各大学対応模試（東大模試や早稲田プレ）などが始まります。受けるならば準備をすること。準備をしないで受けるなら結果に慌てないことが

大事です。このことを考えてみても、夏休みには基礎とともにかなり実践的な学習が進んでいることが大事になります。したがって、夏休み前から基礎に比重をおきながらも、ある程度の実践問題が必要であることがわかります。

10月～

いよいよ各大学の赤本などにも取り組む時期がやってきます。しかし、前述したように、ここまで赤本をやっていないわけではありません。ある程度の実践問題はまんべんなくやっておくことを前提に、ここからは実践問題の比重が高くなるわけです。このとき、①私大・二次科目については、センターに戻らないことが大事です。前述したようにセンターは中でも、記述や要約要素が少なく、より実践的なテクニックばかりに走ります。ですから、二次・私大科目は、志望大学を中心に、さまざまな分野に取り組み、文法や単語など基礎的なチェックをかけることも忘れないようにしてください。②適宜クラブなどに顔を出し、体を動かしたり、気分転換を図ることも大事です。普段と同じリズムが大事な時期です。

12月～

ここから1ヶ月はセンター対策に戻る時期です。ここまで基礎を積み重ね、実践問題に取り組んだ人は、ここからのセンター対策でじゅうぶんテクニックが身につきます。本番は私大や2次の人が多いですから、そういう人は決して慌てず、卒業試験以降センター対策というリズムを早めないこと。特に東大をはじめとした旧帝大、東工大、一橋、早慶の志望者は、12月からで十分です。

1月～

センター以後は、私大・2次対策がメインとなりますが、大事なものは、入試そのものももっとも重要な第一志望対策だということです。運動部などにおいて勉強不足の生徒は、入試を受けるだけでも成績はあがっていくのです。辞書も何も使わずあきらめずに全力を尽くす、ということは入試によって一番鍛えられるからです。この時期は、①学校に来て、先生や友人に会うこと。入試を解いて不明なところは先生に質問すべきです。②最後の最後まで成績が伸びることを信じて、予定通り試験を受け続けること、の2点が大事です。

3月

笑って卒業式、がいいですね。ただ、国公立の後期はここから勝負です。後期まで粘れば合格はつかめると信じて、学校に毎日通いましょう。特に小論文受験、面接受験の生徒は、卒業式後（正確には前期終了後から）の10日間だけで小論文を戦うつもりでかまいませんから、最後までがんばりましょう。

4月 新しいステージに君は立っています。

大学入試動向報告

駿台難関大学入試動向報告、ベネッセ東大入試研究会など、このところ、入試研究会が続いていました。入試動向を簡単に報告します。

発表されている主な変更点

- ① 2012年度のセンター時間割変更に伴う選択指定
すでに伝えてきた通り、社会で4単位科目（世界史B、日本史B、地理B、倫理・政経）指定になる大学が出ています。

- ② 慶応大学センター利用廃止
2012年度より、慶応大学はセンター利用入試が廃止されます。
- ③ 東工大後期日程廃止
2012年度より、7類（生命系）をのぞき、東工大の後期が廃止されます。したがって、前期の合格がとりやすくなると同時に、横浜国立など、受け皿となる後期大学の動向が注目されます。
- ④ 北海道大学入試方法変更
本年度より、総合入試という学部指定のない入試を導入しています。入学後の成績により、学部を選択します。これにより学部別入試のない薬学部、理学部、農学部、工学部などはかなり動きがありそうです。（狙い目となっていくということ）
- ⑤ 千葉大学試験科目変更
2012年度より工学部のほとんどの学科が2次試験で理科2科目指定となることが発表されています。
- ⑥ 横浜国立大再編
学部再編にともない、教育人間科学部の理系学科が本年度より理工学部に移っています。
- ⑦ 上智大学
総合人間学科に看護学科を新設
- ⑧ 全学部入試
導入大学は、2011年度では、明治、青山、立教、中央（文・理工はのぞく）、東京理科大学、明治学院、成蹊などです。
- ⑨ キャンパス移転
青山学院大学の文系学部は2012年よりすべて青山キャンパスに移転する予定。（今までは1・2年は相模原、そのあと青山）（理系はずっと相模原）。東京理科大学は2013年から「葛飾キャンパスに工学部」という話だが…。ホームページには移転学科が発表されている。

安全志向

不況の影響と2012年からのセンター時間割変更を受け、安全、現役志向が強い。次年度は強い浪人が少なくなるので、朗報といえるだろう。不況の影響でいうと、関西地区からの「東大→京大」の流れが強く、東大はやや下がり気味。東大の一人勝ちに一段落ついた形。また、地方の学生が地方帝大、地元国立にとどまり、東工大、一橋あたりへの流入が少なくなっている模様。私立では早稲田が減少傾向で、安全志向がみてとれる。

理系志向、文系人気減

全体傾向で言うと、不況のせいか、理系が若干人気、文系が減少傾向。

国公立後期日程

後期まで粘る生徒は非常に少なく、入りやすくなっている状況。駿台のデータでは東工大の後期合格の偏差値は最低44.8から最高56.4。56が3人、52が3人、50未満が2人という数字。したがって、国公立志望者は、①センター後に志望を下げずに強気の出願をすること②最後まで受験することを覚悟することが重要です。

たとえば、前期は第一志望に出願し、後期は安全校に出願する「よくある出願パターン」では、前期に失敗した場合、たいてい私立でそこそこの大学がとれ、後期出願大学に魅力を感じず、不受験となることが多いわけです。その結果、後期は欠席率が50%を越え、最後までがんばると受かることになります。

具体的にすると、第一志望東工大の場合、前期「東工大」後期「首都大」「横国」というような出願をしているわけですが、東工大を本当に狙える生徒なら、早慶や理科大の合格がと

れますから、ここと3月中旬の第一志望でない首都大を比べると、「もういい」となるわけです。ちょうど科目選択の時期ですが、国立志望生徒は夏に成績があがらない程度ではめげず、最後の最後までがんばる覚悟を決めましょう。

主要私立 学部学科・キャンパス情報 昨年の学年通信より

親世代と大きく違うのが、学部学科の改組やそれに伴うキャンパス移転です。こうした改組や移転により、大学入試の難易度が異なるのは当然のことです。昔のイメージで大学を見てはいけません。

一般的に都心から便のいいキャンパスは難易度が高く、千葉、埼玉、神奈川、多摩などのキャンパスは難易度が下がります。

早稲田大学

文学部・文化構想学部 戸山キャンパス 旧第一文学部と夜間主であった第二文学が統合、改編されたものです。つまり夜間主の文学部は現在ありません。

法学部・政治経済学部・商学部・社会科学部・教育学部・国際教養学部 早稲田キャンパス
社会科学部＝かつては夜間主でしたが、昼夜開講を経て、現在は午前から授業をしています。内容もかつては政経の夜間の位置づけでしたが、現在は社会科学として政経とは内容的にも異なる編成となっています。当然難易度も、政経、商に次ぎ、ほぼ商学部と変わらないところに上がっているのです。

教育学部＝初等教育が新設され、難関となりました。基本的に早稲田の教育学部は教員養成系ではない教育学部です。つまり、卒業に教員免許の取得が必須でなく、卒業時の学士も教育学士ではなく、文学士など、専攻科目にまつわる学士になることが多い学部です。「教育学部」をとったところが、専攻であると思ってよいでしょう。

国際教養学部＝英語を学ぶというより、英語で学ぶという学部です。英語で全ての授業が行われるというインターナショナルスクールのような学部です。退学率は高め。よくわかっていないとついていけなくなります。

基幹理工・創造理工・先進理工 西早稲田キャンパス

旧大久保キャンパス（高田馬場近く）が、地下鉄の駅ができたことにより、西早稲田キャンパスと名称変更しました。場所は変わりません。学科改編を行って、理工学部がこの名称の3学部となっています。

スポーツ科学・人間科学 所沢キャンパス 現在のスポーツ医科とスポーツ文化の2学科が統合され、スポーツ科学になります。入試形式にスポーツがありますが、本校のクラブ活動程度の実績では入りませんので、学力分野の狭き門をくぐる必要があります。

慶応大学

文学部 1年次日吉→三田

法学部・経済学部・商学部 1・2年次日吉→三田

経済学部・商学部は数学利用のA方式と数学のいらぬB方式があります。あきらかに数学利用の方が入りやすくなります。商Bの小論文は論文というより適性検査。向かない人は向かないので数学受験を考えましょう。

理工学部 1・2年次日吉→矢上

医学部 1年次日吉→信濃町

薬学部 1年次日吉→芝共立

薬学部は、共立薬科大学との統合により生まれた学部です。したがって、2年次以降は共立のキャンパスとなります。

看護医療 湘南藤沢1・2・4年次 3年次信濃町

総合政策・環境情報 湘南藤沢

通称SFCと呼ばれる湘南藤沢キャンパスは、他の学科に比べると若干難易度が落ちることは事実です。しかしながら、小論文入試がほぼ課されている慶応全学科の中でも、SFCの小論文はボリュームも多く手ごわいもので、受験勉強とともに非常に高いレベルの問題意識、課題解決能力、プレゼン能力が問われます。

上智大学 四谷キャンパス

外国語学部は看板学部で、毎年定員に若干足した程度の合格者しか出さない学部です。理系では現在、理科2科目と理科1科目を併用できる形にしていますが、もともと1科目であった学部であるだけに今後どういう動きになっていくのか目が離せません。

総合人間学部看護学科新設 1年次四谷キャンパス 2年次以降目白キャンパス

新設ですが、聖母大学との合併ですので、もともとのキャンパスになります。聖路加より難易度は低そうです。

東京理科大

理学部 神楽坂

工学部 九段、一部は神楽坂

理工・薬 野田

基礎工学部 1年次長万部（北海道）→野田

経営 久喜（埼玉）

2013年に、**金町に葛飾キャンパス**が開設され、理・工・基礎工の一部の学科が移転予定となっています。移転学科はホームページで確認しましょう。また、キャンパス移転にはお金がかかるため、私たちの経験上、1年前の2012年には確実に定員を確保する合格発表をすると考えられますので、君たちの代は理科大のチャンスが膨らむ年だと言えるでしょう。難易度でいうと、やはり、理工、基礎工、経営が入りやすくなります。

明治大

文系学部 1・2年次和泉（明大前）→駿河台

理系学部 生田

国際コミュニケーション 和泉

明治もアクセスとして悪く感じる生田はあまり高くなく、国際コミュニケーションも他の文系学部より入りやすいのは事実です。

青山学院

現在は1・2年次相模原から3・4年次青山にくる青山学院ですが、2012年度より、**文系学部は全て青山キャンパス**で学ぶことになりました。正直なところ、現在MARCHクラスでは、明治と立教が難関になりつつありますが、これで青山の文系も盛り返してこることが間違いありません。直接の影響を受けるのは同じミッションのイメージが強い立教でしょう。理工と社会情報の2学部は相模原キャンパスで4年間学ぶことになります。

中央大

理系 後楽園

文系 多摩

中央大学はその立地からか、文系学部は敬遠されがちです。看板学部の法学部をのぞきや入りやすさがあります。

法政大

文・法・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン・グローバル・デザイン工 市ヶ谷
経済・社会・現代福祉・スポーツ健康 多摩
情報科学・理工・生命科学 小金井

法政は、学部配置が複雑で分かりにくい面がありますので、注意が必要です。一般的に、ですが、やはり多摩キャンパスと市ヶ谷キャンパスでは多摩が敬遠され低い傾向があります。経済（多摩）と経営（市ヶ谷）あたりでは似ている学科系統ですが明らかな差があるように感じます。

学習院 全学部 目白

30期学年目標

未知の世界を切り開き、社会に貢献する、自立した「人財」へ

目標とする人間像

「気づき」のある人間 「聞く姿勢」を持つ人間 「学び続ける」人間

身につけるべき力

目標から「逆算」する力
やるべきことを「具現化」する力
他者を「理解」し、「理解される」力



夢実現のための十則

- 夢を持て。ない夢はかなわぬ。目標なく一生懸命やることに酔うな。
- やることを与えられるな。自分のために創り出し、形にして期限を決めよ。
- 他人と関われ。他人を理解しようとしろ。他人に理解される努力をしろ。
- 挨拶をせよ。人に気づき、人に気付いてもらえる。
- 毎日他人に奉仕しろ。心がきれいなら他人も応援してくれる。
- 話を聞く姿勢を作れ。聞く人には教えたくなる。助けたくなる。
- 書け。何度でも書き直せ。書かないことは考えていないこと。
- 自分と戦え。自分は見ている。人と戦うな。気にするな。自分が変われ。
- 大事なことは最初にやれ。優先順位を考えろ。タイミングを逃すな。
- 成功を繰返し、失敗を繰返さぬよう分析しろ。原因を五回さかのぼれ。